



新規物件

大型百貨店西宮店



敷地面積7万㎡強。建築面積約5万5000㎡。駅から徒歩3分。5階建ての建物内には、緑の丘と化した屋上庭園、映画館、東西南北の4つのモールからなる1周約450mのサーキット型に入る約270に及ぶ専門店が並び、全国有数の集客力で知られる西日本最大級の都市型ショッピングセンター。そんな場所に本年1月1日より、日常清掃業務が365日フル稼働で男性スタッフ1ポスト、女性スタッフ4ポストの新体制（全11名）にて再スタートしました。責任者以外は全員自社スタッフの為、百貨店に相応しい清掃品質を提供する責任感と自覚を持って日々の業務に励んでいます。

皆さんも阪急西宮店をご利用の際には、トイレチェックをしてみてください。
 （写真左より太田さん、前田さん、興津さん、杉浦さん）



風邪・インフルエンザ流行中

かぜとインフルエンザは、ココが違う！

	かぜ(普通感冒)	インフルエンザ
発症時期	1年を通じ散発的	冬季に流行
主な症状	上気道症状	全身症状
症状の進行	緩和	急激
発熱	通常は微熱(37~38℃)	高熱(38℃以上)
主症状(発熱以外)	●くしゃみ ●喉の痛み ●鼻水、鼻づまり など	●咳 ●喉の痛み ●鼻水 ●全身倦怠感、食欲不振 ●関節痛、筋肉痛、頭痛 など
原因ウイルス	ライノウイルス、コロナウイルス、アデノウイルス など	インフルエンザウイルス

今年も風邪やインフルエンザが大変流行っています。当社においても数名風邪やインフルエンザにかかったスタッフがいます。風邪と思われる程度の症状でも、インフルエンザと診断されることが多くなっているようです。ちょっと風邪がみかなと思ったら、早めに病院で診察を受けて下さい。（何より、ご自身がしんどい思いをします）

受賞者発表

ピア賞受賞者決定！

今回受賞される興津友彦さんは大型百貨店うめだ本店、大型百貨店西宮店を中心に、大阪方面の物件を管理するスーパーバイザーです。顧客とのきめ細かい折衝から、現場スタッフの管理、夜間の清掃立会い、時には欠員の作業応援までとマルチに活躍してもらっています。一人三役どころか四役も五役もこなす前向きな対応力と、持ち前の明るいキャラクターを武器に、顧客や現場スタッフの信頼を得ていることから、この度ピア賞を授与する運びとなりました。今後益々の活躍を期待しています！

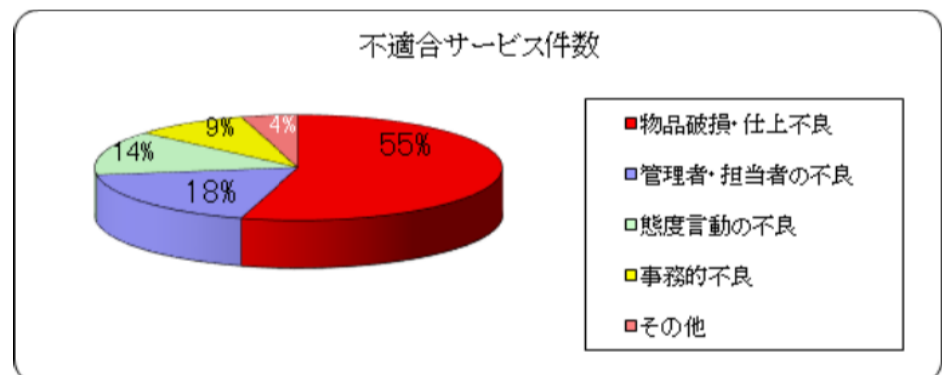


事前に予防接種を受けられた方もいらっしゃると思いますが、右図のような自己防衛が基本になります。マスクの着用、うがいや手洗い、栄養と休養等、自己管理をよろしくお願いします。
 総務課より



品質委員会よりお願い 品質管理委員会より 不適合サービス報告書

皆様、いつもお疲れ様です。今回はH26年5月～H27年1月までに発生した不適合サービス（クレーム）は22件ありました。グラフにも書いてあるとおり、不適合サービスの中でも物品破損・仕上不良が半数以上を占めています。



作業中の物品破損が多く発生しており、そのほとんどの原因が作業の慣れや思い込みから多く発生しているようです。また昨年末に各担当者が各現場に掲示しましたが、【鍵の取扱】については、十分に十分な程、注意を払い、正しい手順で取り扱って下さい。普段から作業上必要な鍵をお客様より預かり日々の作業を行って頂いてますが、ルールを守らないで「うっかりポケットの中に...」「ここに置いたはずが...」気が付いた時は「無いっ!」という事にならないようお願い致します。鍵の紛失はお客様にとってもピアサービスにとっても非常に大きい損失になり、場合によっては一発契約解除になりかねないケースもあります。上記の物損を含めて今まで以上によりいっそう気を引き締め、「有意注意」で毎日頑張ってもらえるようお願い致します。



Happy Wedding!



某外資系のオフィスで、ハンディーマン（オフィス管理に伴うクライアントからのあらゆる事案をサポートする仕事）で頑張ってくれている渡辺諒君が、今月30日に入籍することになりました。非常にレベルの高い対応をして頂き、クライアントからも絶大な信頼を得ております。今後も、公私にわたり、活躍を期待しております。本人より「この度1月30日に入籍することになりました。まだまだ未熟な私ですが、家庭に仕事に努力していきますので、ご指導、宜しくお願い致します。」とのことでした。

チャレンジ100

チャレンジ100結果発表

平成26年10月1日～平成27年1月8日の100日間、無事故無違反運動に本社スタッフが取り組みました。今回も2チーム（1チームは10名）参加し、作中・プライベートも含め、事故や違反がない様に、安全運転に努めました。残念な事に、1名勤務中に違反キップを切られました。（ちなみに違反内容は、駐車違反でした）まだ結果通知は届いていませんが、1チームのみの表彰になりそうです。今回違反がりましたが、日々交通ルールを守り、安全運転を心がける様、指導教育していきます。皆さんも事故等には、くれぐれも気をつけて下さい。
 副安全運転管理者：藤原より

年頭にあたり
きれいな心で願望を描く

2015年1月26日
ピアサービス株式会社
代表取締役 岸本 吉充

新年明けましておめでとうございます。
今年のお正月は年明け早々の大寒波の影響で身の引き締まる厳しい寒さでしたが、皆様ご家族とお揃いで、健やかに新年をお迎えになられた事とお喜び申し上げます。

昨年も従業員の皆様お一人おひとりが持ち場、もち場で、我社の行動指針「四方よし」の実践、誠意ある対処をして頂いたお蔭で、こうして新しい年を迎えることが出来た事を感謝しております。
また、年末年始、お休みもなく出勤して頂いた方々もおられますが、この場をお借りして、お礼を申し上げます。

昨年は、世相を表す漢字においても「税」が選ばれたことで記憶に新しいことと思いますが、17年ぶりに消費税が5%から8%に引き上げられ、その税引き上げによる影響が経済市場においてもじわじわと表面化しつつあることを実感しております。
またその他の漢字においても、上位には、「熱」=世界的に猛威を振るったエボラ出血熱、日本でも確認されたウイルス。「災」=豪雪、台風、豪雨、土砂災害、御岳山噴火等の自然災害。その他にも「嘘」、「偽」等の漢字が選ばれたことを思うと、2013年に選ばれた「輪」と比べても、少し寂しさを感じます。
世界的にも ロシアのクリミア併合というウクライナ問題、イスラム国による中東の混乱による影響が市場での不安材料でもあり、今年は少しでも、明るい、楽しいニュースが多いことを強く願っています。

「強く願っています」と申し上げましたが、
本社での毎週初めの7時30分より、京セラ現名誉会長である稲盛和夫氏の「経営原点12か条」「京セラフィロソフィー」を題材に勉強会を行って入る事は、折に触れて申し上げてきましたが、その「経営原点12か条」の第3条に『強烈な願望を心に抱く』というものがあります。
この『強烈な願望を心に抱く』という項では、事業の目的、意義の追求、具体的な目標達成の為に、まずすべきは、きれいな心で、潜在意識に透徹するほどの強く持続した願望を持つことを学びました。
この項の副題は、「潜在意識に透徹するほどの強く持続した願望を持つこと」となっており、「希望」ではなく、どんな事があってもやるのだという強い「願望」でなければならない。そして、その「願望」を「不屈不撓の一心」（ふくつふとうのいっしん）で潜在意識に透徹する程に願い続けることが、必要なのです。

何かうまくいかない事があった際、得てして人はその原因を自分以外の人や環境のせいにしてしまいがちです。
京セラ稲盛氏は、物事がうまく進まない時は、まず初めに自分の思い（願望）が足りなかったのだと考えるようにと言われております。
ある仕事を進める上で、人から協力が得られなかった場合にその原因は自分の頼み方が悪くて思い（願望）が伝わらなかったと思うようにしてきた。そうすることで人を恨むなどという、つまらない方向に無駄なエネルギーを使うのではなく、自分の至らなさを思い、再度やり直さなければ...と前向きに考えることが出来たと述べられています。
つまり「自分の思い（願望）が足りないから生ずる努力不足に目を向けよ！」と。

昨年大ブレイクしたテニス界の錦織圭選手はマイケル・チャンコーチに毎日5回ぐらい言い続けられたそうです。
「believe in yourself」「自分を信じろ」「自分が信じて戦えばかならず勝てる」「勝てない相手はいない」
その結果 全米オープン選手権では世界ランキング1位プレイヤーのジョコビッチに準決勝で勝利し、準優勝しました。
世界ランキングも東洋人初の5位になりました。
思わなければ始まらない。自分を信じて勝つんだと試合に臨み、最後まで諦めず戦い抜くことが、結果に表れたのだと思います。
フィギュアスケート世界選手権2連覇、ソチ五輪金メダルリストの羽生弓弦選手も、先月アクシデントを乗り越え、グランプリシリーズ優勝した際に同じような事を言っています。
前段の稲盛氏だけではなく、かの松下幸之助氏も「思う」ことを大事にされた方でした。
我々ピアサービスは、「従業員よし」を加えた『四方よし』の実践により、「誠意と努力により活力とゆとりのある豊かな人間環境の創造の為貢献する」という『企業理念』を叶える（実現する）為にも、その思いを強く願い行動していきたいと思っております。

そしてこの「思い（願い）」を実現させる為には、努力、熱意、考え方以上に大切なものが、「心のあり方」だと思えます。
人間として正しい考え方を持ち、目標に向かって一生懸命に努力すれば必ず夢は実現する、つまり人生は心に描いた通りになる。そんな人生を皆様と共に歩んでいきたいと思えます。
そして、そのような「心のあり方」を磨いていく上で必要なことは、仏教で言うところの「布施」、すなわち世のため、人の為に尽くすということだと思えます。
日本人が従来持っている「おもてなしの精神（心）」も、この自分以外の為にといい、いわゆる利他の心から生じているのだと思えます。
サービス業の原点を今一度見つめ直す為にも、本年は、以下の1.~6.をもっと前面に出していきたいと、強く思っています。

1. やさしいまなざし。
2. 慈愛に溢れた笑顔で人に接する。
3. あたたかい言葉。
4. 自分の身体を使って人のために奉仕する。
5. 思いやりの心を持つ。
6. 自分の席を譲る。

以上の6点を心に持って、一人ひとりが行動すれば、一步上のサービスが提供できると考えます。
私も今年一年、一段上を目指し、精一杯一生懸命に頑張ります。
従業員の皆様も、健康で素晴らしい一年になりますように、ご祈念申し上げます。